

9月7日

テーマ：「嵐を静めるイエスさま」

聖書箇所：マルコの福音書4章35節～41節

◆今日のみことば

イエスは起き上がって、風をしかりつけ、湖に「黙れ、静まれ」と言われた。すると風はやみ、大なぎになった。

マルコ福音書4章39節

◆メッセージ

みんなは、船に乗ったり、飛行機に乗ったりして、怖い思いをしたことがありますか？先生は船に乗っているあいだに台風にあったことがありますが、本当に大変で怖かったです。何も見えない夜中の海で、強い風と大きな波に揺れる船の中にいることはとても大変なことです。生きて家に帰れるかな、と真剣に心配しました。何とか助かりましたけれど、その時のことを思うと、今も船酔いをしているようです。



イエスさまの弟子たちも、夜中、イエスさまと一緒に船に乗って湖を渡っている時に、激しい嵐にいました。弟子たちの中には漁師さんもいて、嵐には慣れているはずだったのですが、この時は本当に大変だったみたいですね。

それなのに、イエスさまは疲れて眠ったままでした何もしてくれません。弟子たちは急いでイエスさまを起こして、「私たちは死にそうなのに何も思わないですか」と文句を言いました。そこで、イエスは起き上がって、風をしかりつけ、湖に「黙れ、静まれ」と言われると、風はやみ、湖も静まりました。そして、イエスさまは続けて弟子たちに言われました。「どうしてそんなにこわがるのです。信仰がないのは、どうしたことです。」イエスさまと一緒にいるので怖がる必要はなかったのに、弟子たちは不安で大騒ぎしたからですね。

私たちは、生きている間に、必ず大変な経験をします。怖い目にあうこともあるでしょう。



でも、イエスさまを信じて、イエスさまと一緒になら、安心できます。イエスさまは私たちが愛されているからです。私たちにこの信仰がないと、いろいろなことを心配して、悩んでばかりになってしまいます。目に見えるもの心配の方が、イエスさまより大きく見えたりしますから。

しかし、イエスさまは世界を造られ、支配しておられるお方です。イエスさまは、ただ信じて、心配しないように、私たちに教えておられます。皆さんのことは、イエスさまがとても愛しています。良い時も高ぶらないで、大変な時も心配しないで、いつもイエスさまを信じて祈りましょう。

◆お祈り

イエスさま。私たちと一緒にいてくださってありがとうございます。いつも忘れないで、信じていることができますように助けてください。